



「片山根下戸線」根下戸新町付近



行政報告

市議会12月定例会が12月4日に招集され、小畑市長が行政報告を行いました。その中から、主なものの要旨をお知らせします。

もっと便利に

「片山根下戸線」の開通

国道7号片山3丁目から大館南バイパス根下戸ランプ付近に至る「片山根下戸線」は、近々工事が完成します。これは、渋滞解消などのために建設されたもので、延長1,033.8mに及びます。国土交通省の施工分はほぼ完了し、秋田県の施工分も舗装工事を残すのみです。

この路線は、平成8年11月の国・県・市の三者による「覚書」により、完成後は大館市が引き受け管理することになっています。年内には市道として供用開始し、国道7号と国道103号へのアクセス道としての活用を考えています。

策定中です

現在、平成15年度から19年度までを対象とした第2期介護保険事業計画を策定中です。

- この計画は、利用者の需要傾向やアンケート結果などを踏まえ、新たにグループホーム3ユニット27人分の増設
- ・二井田真中地区デイサービスセンターの建設
 - ・北部老人福祉総合エリアの2期工事のうち、ケアハウス50床の増床計画の推進

などにより、介護サービスの質的・量的な向上を目指すとともに、制度の本旨である介護予防施策にも取り組んでいきます。

計画策定に当たり、介護保険事業計画運営委員会を開催し、事業

長雨と早い降雪で被害発生

今年、春先までは高めの気温でしたが、その後夏から秋にかけての長雨、そして11月には初雪や降ひょうにより、水稲や大豆、果樹などに被害が発生しています。

水稲は長雨や日照不足の影響で草丈は長く、穂数やもみ数は平年よりも少なくなりました。また、「もち病」の大きな発生は見られませんでした。例年に比べ、「稲こ

第2期介護保険事業計画

内容のほか、月額基本保険料、所得段階別負担割合の改正なども審議していただいています。

月額基本保険料は、保険給付費が大幅に増加しているため、すでに平成13年度から財源不足となっていること、要介護認定者が来年度以降も増え続け、引き続き保険給付費の増加が見込まれることから、現行の2,785円から3,730円と試算されます。

今後、説明会を1月中旬に市内11カ所で開催し、1月末ごろには介護保険事業計画運営委員会からの最終答申を受ける予定です。その結果に基づいて、3月定例会に条例改正案を提出したいと考えています。

平成14年度の農業

「うじ病」が全域で発生し、品質が低下しました。このため、10月15日発表の作況指数は「97のやや不良」で、一等米比率も11月14日「Aあきた北の発表では、73.4%と前年よりも下回りました。

野菜は、長雨の影響を大きく受けましたが、いずれも平年並みの価格で取引されています。果樹は、4月下旬の降霜により、